

木村日記 （註） インド哲學者。明治十五年十一月二十一日福井縣武生
生れ、昭和四十年十一月二十五日歿（八二—九五）。初名注三郎、の
ち龍寛、更に日記と改名。明治四十一年白蓮宗留學生としてインドに
渡り、大正二年カルカッタ梵語大學東洋學科卒。歸朝後、滯留中の夕
ゴールの序詩を得て『優波尼沙土物語』（大正五年七月十八日新潮社）
を著す。他に『印度民族』等數冊の著書。『The Original and De-
veloped Doctrines of Indian Buddhism in charts』等八冊の英文著
書がある。カルカッタ大學院講師、上立止大學教授、國際佛教協會理事
長を務めた。

遺著『アショーカ王とインド思想』（昭和二十年六月一日教育出版セ
ンター）以て「選書」。

